

【講師プロフィール】

東日本地域

NPO 法人コミュニティ・オーガナイズing・ジャパン

WS 事業担当

安谷屋 貴子（あだにや たかこ）



神奈川県伊勢原市出身。父親の出身地である沖縄で学生時代を過ごし、自らのルーツ探しと沖縄における米軍基地問題を学ぶ。

日本という社会が、日本に住む私たち自身が声を出し行動することで、よりよく変化するために何ができるだろうかと考え続け、コミュニティ・オーガナイズingと出会い大きな可能性を感じている。2017年4月からコミュニティ・オーガナイズingスタッフと一般社団法人 RCF での福島県内のコミュニティ支援事業との二足の草鞋。

NPO 法人コミュニティ・オーガナイズing・ジャパン

フェロー

林 大介（はやし だいすけ）



高校生の時に子どもの権利条約に出会ったことで、「市民としての子どもの社会参加」促進に携わり、現在、子どもの権利条約ネットワーク事務局長、模擬選挙推進ネットワーク代表などを務める。障害児介助員、中高教師、NPO 法人チャイルドライン支援センター事務局長、文科省専門職、東洋大学助教などを経て、現在、東洋大学ボランティア支援室・ボランティアコーディネーター。コミュニティ・オーガナイズing・ジャパンの立ち上げに関わり、講師、コーチなどとして市民参加のエンパワーメントを図る。

西日本地域

NPO 法人コミュニティ・オーガナイズing・ジャパン

地域実践伴走担当

会沢 裕貴（あいざわ ゆたか）



茨城県水府村出身。幼い頃から衰退していく過疎地域の中で育ち、衰退した街を再生できないかと建築の道に進む。大学院修了後、不動産会社、商業施設の開発コンサル会社を経て、2014年10月に地元茨城にて実践型インターンシップ事業の立ち上げを行うと同時に、ワークショップのコーチ・講師としてコミュニティ・オーガナイズing・ジャパンに関わりはじめる。現在はコミュニティ・オーガナイズing・ジャパンのスタッフとして、戦略策定や九州事業推進などを行っている。

NPO 法人コミュニティ・オーガナイズing・ジャパン

ワークショップコーチ

竹之下 惟基（たけのした ゆいき）



学生時代からグローバルからローカルまで様々な市民活動・運動に携わる。その後、市民主体での政党づくりに参画し、政治団体で市民参加型（参加型民主主義）の団体運営や選挙を企画・運営。その経験から、社会をつくる根幹である「教育」分野から「民主主義を育てる」ことの必要性を強く感じ「ダイバーシティズン」を立ち上げる。現在は民主主義や政治参加・社会参加をテーマにワークショップや出張講座を開きながら、政治参加の仕組みや環境づくりにも積極的に取り組んでいる。

以上